

2018年12月期 通期決算 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned at the top right corner of the letter 'G'.

AGC株式会社

2019年2月6日

Your Dreams, Our Challenge

■ 2018年12月期 通期決算	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.4
2. セグメント別・地域別の状況	P.16
■ 2019年 通期業績の見通し	P.27
付属資料	P.35

2018年12月期 通期決算

1. 業績のポイントと主要項目

売上高	15,229億円	前年比 594億円 (4.1%) の増収
営業利益	1,206億円	同 9億円 (0.8%) の増益
税引前利益	1,284億円	同 140億円 (12.2%) の増益
親会社の所有者に帰属する		
当期純利益	896億円	同 204億円 (29.4%) の増益

- **営業利益は4期連続増益を達成**
各事業の出荷数量増などにより増収も、原燃材料価格上昇などにより増益幅は縮小
- **親会社の所有者に帰属する当期純利益は大幅増益**

連結純損益計算書

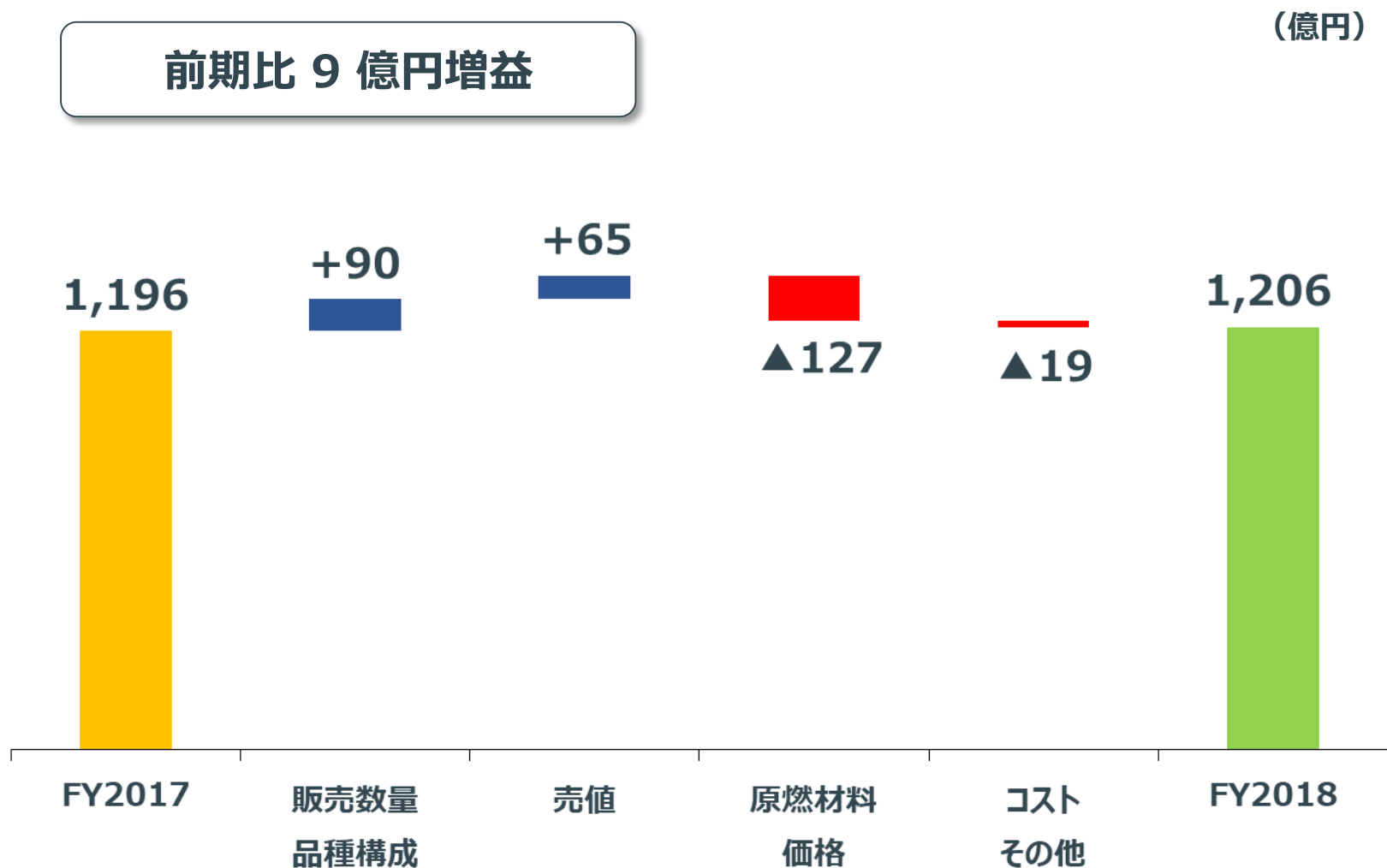
	4Q			通期			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減	
売上高	3,996	3,968	▲ 28 *	14,635	15,229	+ 594 *	
営業利益	372	335	▲ 37	1,196	1,206	+ 9	
その他収支	▲ 42	▲ 15		▲ 57	19		
事業利益	330	321	▲ 9	1,139	1,225	+ 86	
金融収支	7	53		5	59		
税引前利益	337	374	+ 36	1,144	1,284	+ 140	
法人所得税費用	▲ 224	▲ 78		▲ 351	▲ 264		
当期純利益	113	296	+ 183	793	1,020	+ 227	
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	86	247	+ 161	692	896	+ 204	
非支配持分に 帰属する当期純利益	27	49		101	124		
為替レート	JPY/USD	112.98	112.90	112.19	110.43		
(期中平均)	JPY/EUR	133.01	128.78	126.67	130.42		
原油	\$/BBL (Dubai)	59.3	67.4	53.2	69.4		

* うち、為替差影響は、4Q 売上高▲55億円、通期売上高+59億円

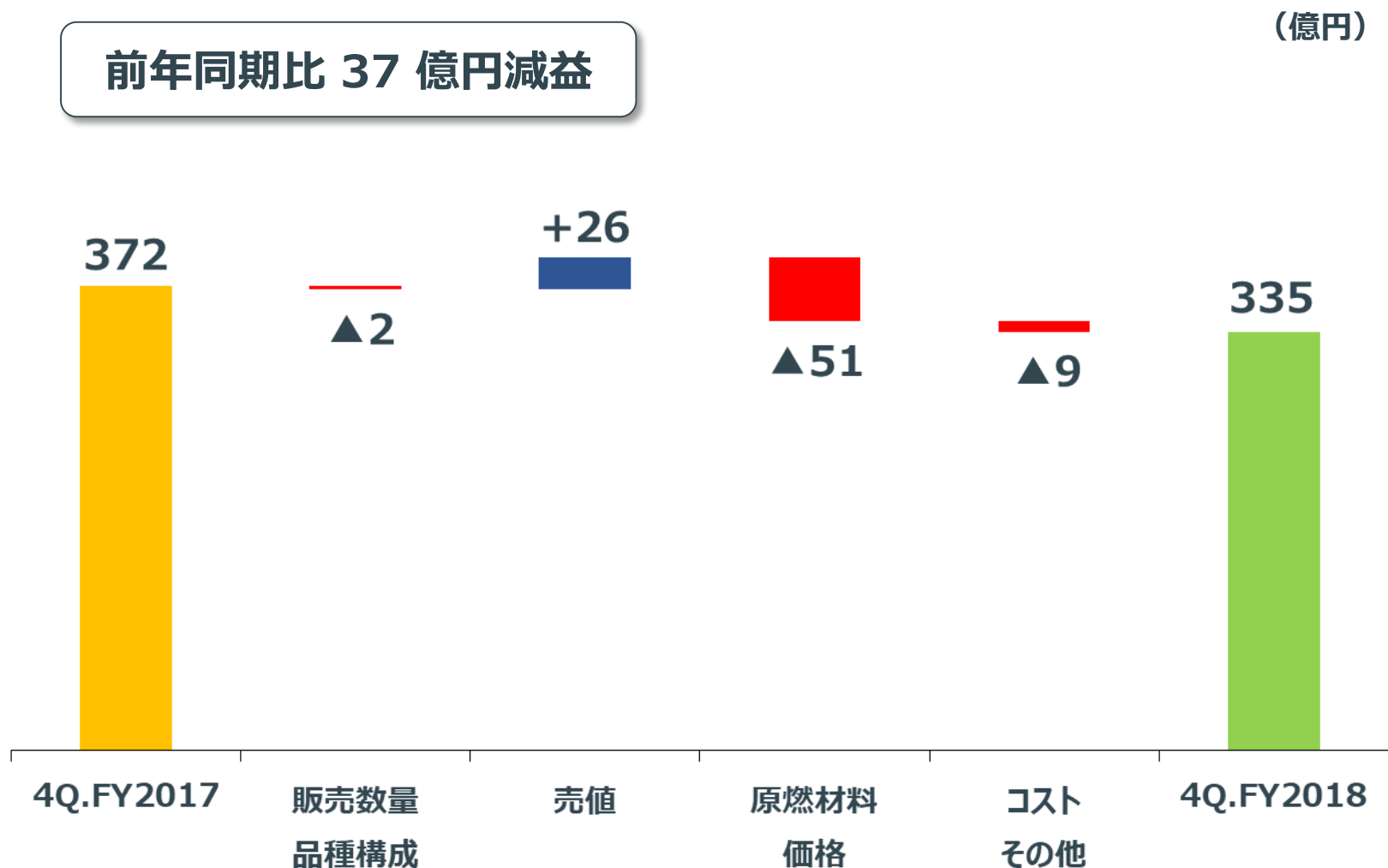
セグメント別業績 前年同期比較

	4Q			通期			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減	
売上高	3,996	3,968	▲ 28	14,635	15,229	+ 594	
ガラス	1,944	1,919	▲ 24	7,351	7,575	+ 223	
電子	719	677	▲ 42	2,624	2,526	▲ 97	
化学品	1,252	1,295	+ 42	4,376	4,844	+ 467	
セラミックス・その他	229	202	▲ 27	754	790	+ 36	
消去	▲ 148	▲ 125	+ 23	▲ 470	▲ 506	▲ 36	
営業利益	372	335	▲ 37	1,196	1,206	+ 9	
ガラス	52	44	▲ 8	271	225	▲ 45	
電子	105	78	▲ 27	273	240	▲ 33	
化学品	209	209	▲ 1	637	711	+ 75	
セラミックス・その他	5	4	▲ 1	14	28	+ 14	
消去	0	0	+ 0	1	0	▲ 1	

営業利益増減要因分析(FY2018 vs. FY2017)



営業利益増減要因分析(4Q.FY2018 vs. 4Q.FY2017)

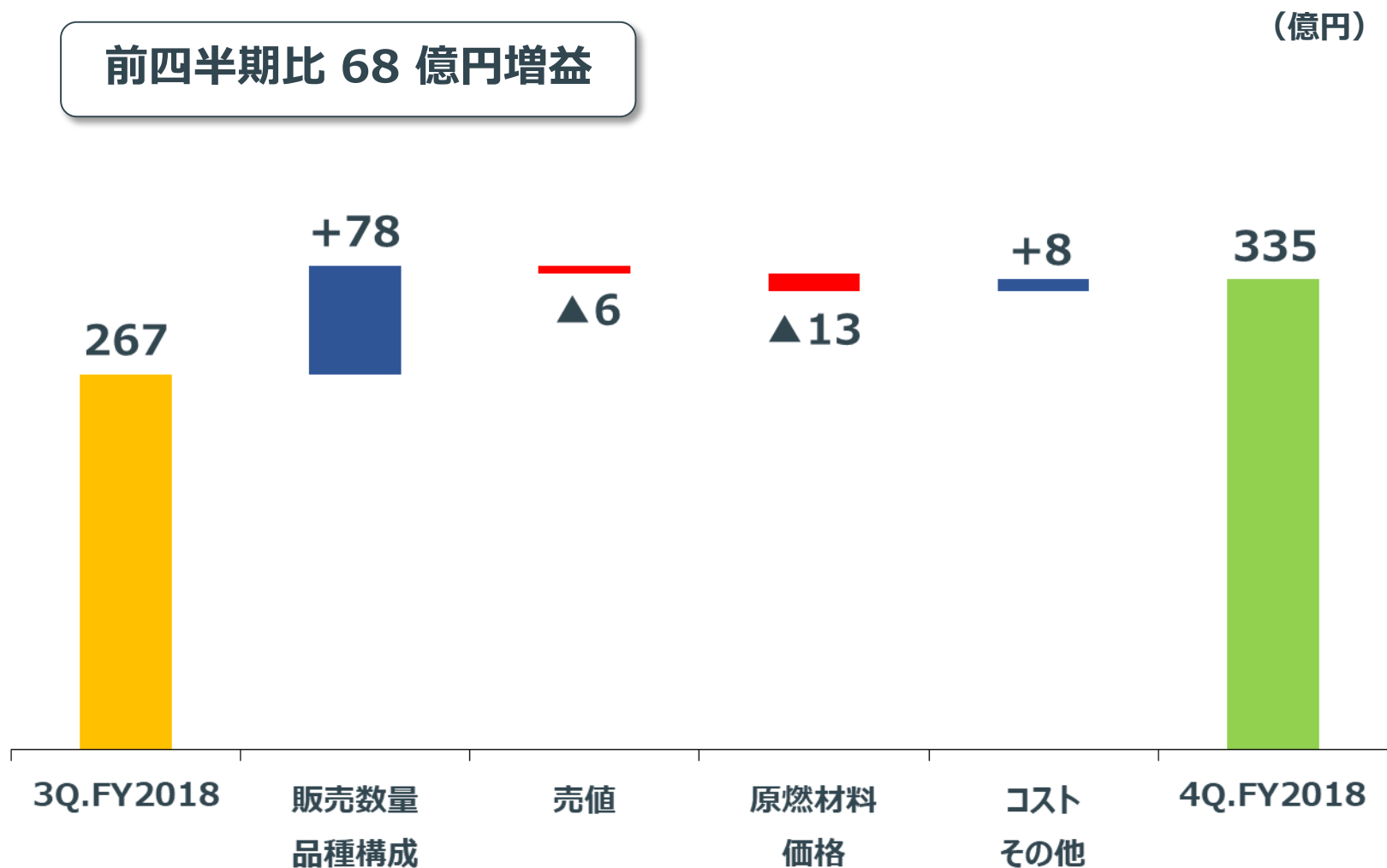


セグメント別業績 前四半期比較

(億円)

	3Q.FY2018	4Q.FY2018	増減	増減%
売上高	3,807	3,968	+ 161	+4.2%
ガラス	1,839	1,919	+ 80	+4.4%
電子	651	677	+ 26	+4.0%
化学品	1,252	1,295	+ 43	+3.4%
セラミックス・その他	190	202	+ 12	
消去	▲ 125	▲ 125	▲ 0	
営業利益	267	335	+ 68	+25.5%
ガラス	28	44	+ 16	+56.9%
電子	62	78	+ 16	+26.2%
化学品	166	209	+ 43	+25.6%
セラミックス・その他	11	4	▲ 7	
消去	0	0	+ 0	

営業利益増減要因分析(4Q.FY2018 vs. 3Q.FY2018)



(億円)

	2017/12	2018/12	増減
現金及び現金同等物	1,264	1,235	▲ 29
棚卸資産	2,617	2,770	+ 153
有形固定資産・無形 資産及びのれん	11,974	12,547	+ 573
その他	6,430	5,806	▲ 624
資産合計	22,286	22,358	+ 72
有利子負債	4,891	5,418	+ 527
その他	4,496	4,404	▲ 92
負債の部	9,387	9,822	+ 435
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,840	11,372	▲ 468
非支配持分	1,059	1,164	+ 105
資本の部	12,899	12,536	▲ 363
負債及び資本合計	22,286	22,358	+ 72
D/E比率	0.38	0.43	

うち、為替差影響
▲782

連結キャッシュフロー計算書

(億円)

	4Q		通期	
	FY2017	FY2018	FY2017	FY2018
税引前利益	337	374	1,144	1,284
減価償却費及び償却費	324	298	1,282	1,217
運転資金増減	117	12	▲ 150	▲ 270
その他	▲ 44	▲ 7	▲ 242	▲ 338
営業活動によるCF	734	676	2,035	1,893
投資活動によるCF	▲ 532	▲ 752	▲ 2,096	▲ 1,945
フリーキャッシュフロー	202	▲ 76	▲ 61	▲ 52
有利子負債増減	154	▲ 28	314	544
支払配当	—	—	▲ 219	▲ 249
その他	▲ 154	▲ 38	▲ 283	▲ 209
財務活動によるCF	▲ 0	▲ 66	▲ 187	87
現金等に係る換算差額	27	▲ 22	39	▲ 64
現金等の増加額	229	▲ 163	▲ 209	▲ 29

	4Q		通期 (億円)	
	FY2017	FY2018	FY2017	FY2018
設備投資額	634	583	1,651	2,306
ガラス	265	301	637	890
電子	156	140	480	795
化学品	202	139	507	610
セラミックス・その他	11	4	28	12
消去	▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 1
減価償却費	324	298	1,282	1,217
ガラス	122	111	456	470
電子	117	99	510	411
化学品	79	85	296	325
セラミックス・その他	6	3	21	12
消去	▲ 0	▲ 0	▲ 1	▲ 1
研究開発費	123	119	439	458

為替換算・連結範囲変更の影響（前年同期比較）

(億円)

売上高	全社計*	ガラス	電子	化学品
FY2018	15,229	7,575	2,526	4,844
前年比	+ 594	+ 223	▲ 97	+ 467
[以下影響を除く前年比]	+ 432	+ 250	▲ 104	+ 286
為替換算の影響	+ 59	+ 38	+ 7	+ 15
連結範囲変更の影響	+ 102	▲ 65	+ 0	+ 166

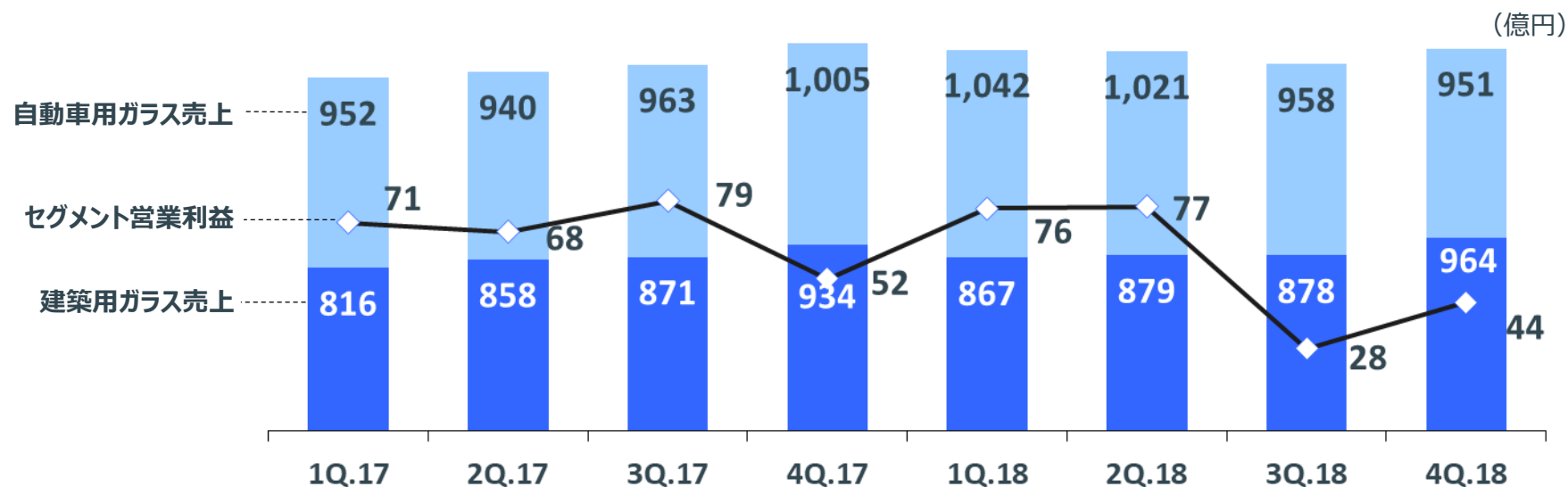
*全社計には、セラミックス・その他、および消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しない

2. セグメント別・地域別の状況

ガラス セグメント (1)

	4Q			通期		
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減
売上高	1,944	1,919	▲ 24	7,351	7,575	+ 223
建築用ガラス	934	964	+ 30	3,479	3,589	+ 109
自動車用ガラス	1,005	951	▲ 54	3,860	3,973	+ 113
(セグメント間)	4	4		12	13	
営業利益	52	44	▲ 8	271	225	▲ 45

* サブセグメントの売上高は外部顧客への売上高です。
(2017年度に公表した数値と異なります)



【前年累計比】

〔売上高〕 増収

建築用ガラス

- 欧州の出荷増、ユーロ高の影響で円ベースの売上高が増加

自動車用ガラス

- 日本・アジアや欧州で出荷増、ユーロ高の影響で円ベースの売上高が増加

〔営業利益〕 減益

共通

- 重油や天然ガスなど世界的な原燃材料価格上昇により製造原価や輸送費が増加

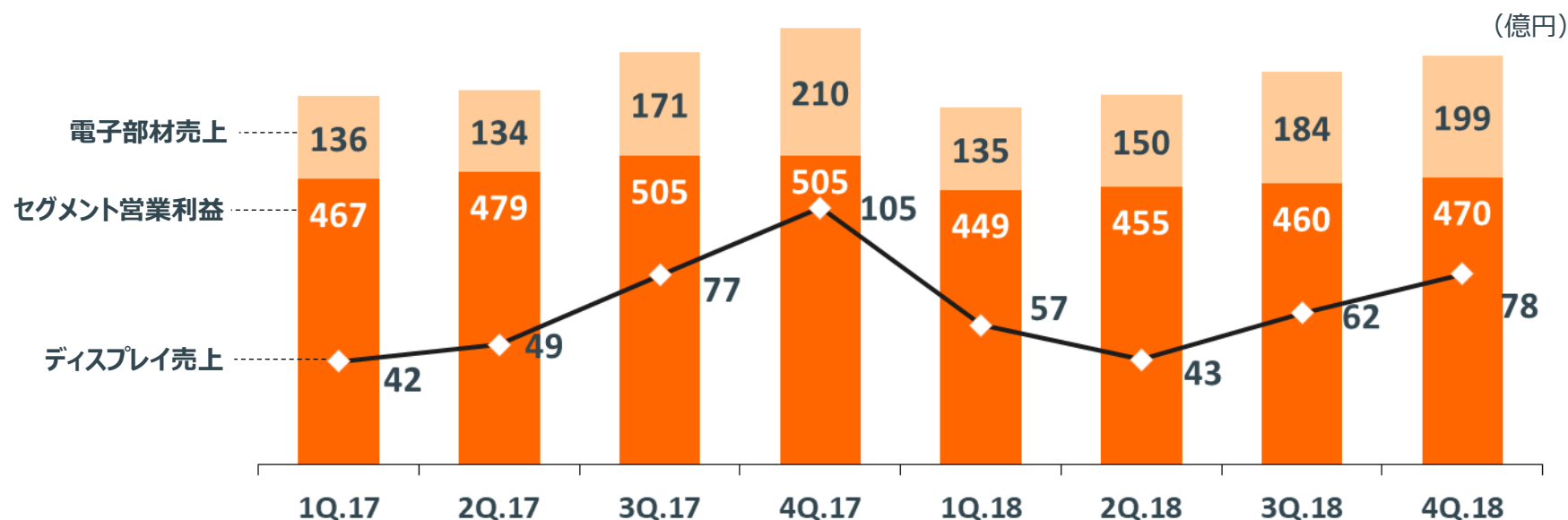
自動車用ガラス

- 日本では受注量増加により生産効率が悪化し、新規設備立上により固定費も増加
- 北米市場における販売構成の変化により収益性悪化

電子 セグメント (1)

	4Q			通期			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減	
売上高	719	677	▲ 42	2,624	2,526	▲ 97	
ディスプレイ	505	470	▲ 35	1,955	1,834	▲ 122	
電子部材	210	199	▲ 11	651	669	+ 18	
(セグメント間)	4	8		18	24		
営業利益	105	78	▲ 27	273	240	▲ 33	

* サブセグメントの売上高は外部顧客への売上高です。
(2017年度に公表した数値と異なります)



【前年累計比】

〔売上高〕 減収

ディスプレイ

-液晶用ガラス基板

- 販売数量は微増、販売価格は下落幅が縮小

-ディスプレイ用特殊ガラス

- ドラゴントレイルは下期出荷好調により、年間販売数量が前年を上回る

-車載ディスプレイ用カバーガラス

- 欧州向け出荷が増加

電子部材

- 光学・電波用部材の出荷が減少も、半導体関連製品の出荷が増加

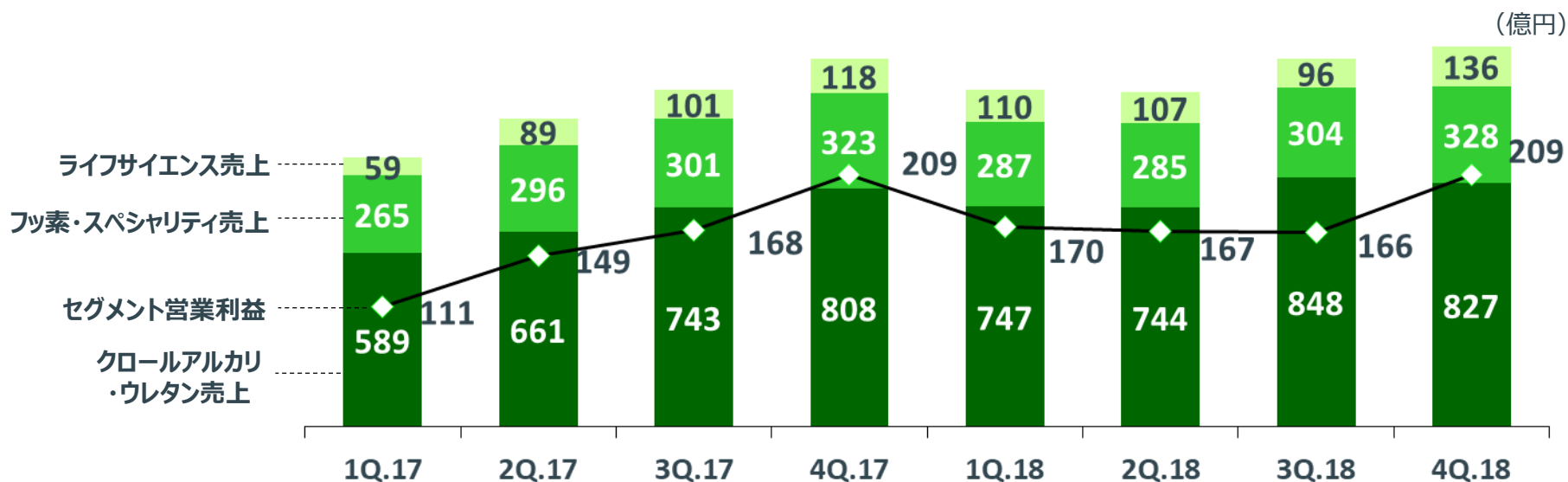
〔営業利益〕 減益

- 半導体関連製品は好調を維持
- ディスプレイ用特殊ガラス一部製品の在庫処分により損益悪化

化学品 セグメント (1)

	4Q			通期		
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減
売上高	1,252	1,295	+ 42	4,376	4,844	+ 467
クロールアルカリ・ウレタン	808	827	+ 19	2,800	3,166	+ 366
フッ素・スペシャリティ	323	328	+ 6	1,185	1,205	+ 20
ライフサイエンス	118	136	+ 18	366	449	+ 83
(セグメント間)	4	3		25	23	
営業利益	209	209	▲ 1	637	711	+ 75

* サブセグメントの売上高は外部顧客への売上高です。
(2017年度に公表した数値と異なります)



【前年累計比】

〔売上高〕 増収

クローラルカリ・ウレタン

- 2017年3月から連結したビニタイ社のフル寄与、クローアリ製品の価格改善

フッ素・スペシャリティ

- 半導体関連製品向けをはじめとするフッ素関連製品の出荷が堅調に推移

ライフサイエンス

- 2017年2月から連結したCMCバイオロジックス社(現AGCバイオロジックス社)のフル寄与
- バイオ医薬事業が順調に拡大

〔営業利益〕 増益

- ビニタイ社のフル寄与、クローアリ製品の価格スプレッド改善
- フッ素製品の販売価格上昇
- CMCバイオロジックス社(現AGCバイオロジックス社)のフル寄与、バイオ医薬事業が順調に拡大

地域別業績 前年同期比較

	4Q			通期			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減	
売上高	3,996	3,968	▲ 28	14,635	15,229	+ 594	
日本・アジア	2,703	2,691	▲ 12	9,734	10,057	+ 323	
アメリカ	420	430	+ 10	1,609	1,663	+ 53	
ヨーロッパ	873	847	▲ 26	3,292	3,510	+ 218	
営業利益	372	335	▲ 37	1,196	1,206	+ 9	
日本・アジア	444	388	▲ 56	1,390	1,383	▲ 7	
アメリカ	17	21	+ 4	53	67	+ 14	
ヨーロッパ	18	34	+ 16	109	162	+ 53	
地域共通費用	▲ 108	▲ 108	+ 0	▲ 356	▲ 406	▲ 51	

* 外部顧客向け売上高の内訳表示とし、併せて営業利益を調整していますので、17年度は前年度の公表数値と異なります。

地域別業績 前四半期比較

	3Q.FY2018	4Q.FY2018	増減	増減%
				(億円)
売上高	3,807	3,968	+ 161	+4.2%
日本・アジア	2,572	2,691	+ 119	+4.6%
アメリカ	396	430	+ 34	+8.6%
ヨーロッパ	839	847	+ 8	+1.0%
営業利益	267	335	+ 68	+25.5%
日本・アジア	347	388	+ 41	+11.9%
アメリカ	13	21	+ 8	+57.5%
ヨーロッパ	27	34	+ 8	+28.7%
地域共通費用	▲ 120	▲ 108	+ 12	▲9.7%

* 外部顧客向け売上高の内訳表示とし、併せて営業利益を調整していますので、17年度は前年度の公表数値と異なります。

売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	1-4Q.FY2018	1,182	464	1,943	-	-
		1-4Q.FY2017	1,214	465	1,800	-	-
	自動車ガラス	1-4Q.FY2018	2,028	725	1,220	-	-
		1-4Q.FY2017	1,923	747	1,190	-	-
		1-4Q.FY2018	3,210	1,188	3,163	13	7,575
		1-4Q.FY2017	3,136	1,213	2,990	12	7,351
電子	1-4Q.FY2018	2,327	133	43	24	2,526	
	1-4Q.FY2017	2,465	102	39	18	2,624	
化学品	1-4Q.FY2018	4,176	341	304	23	4,844	
	1-4Q.FY2017	3,795	294	263	25	4,376	
セラミックス・その他	1-4Q.FY2018	344	-	-	447	790	
	1-4Q.FY2017	338	-	-	416	754	
消去	1-4Q.FY2018	-	-	-	▲ 506	▲ 506	
	1-4Q.FY2017	-	-	-	▲ 470	▲ 470	
合計	1-4Q.FY2018	10,057	1,663	3,510	-	15,229	
	1-4Q.FY2017	9,734	1,609	3,292	-	14,635	

* 17年の地域別売上高を外部顧客向け売上高の内訳に調整していますので前年度の公表数値と異なります。

売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	4Q.FY2018	346	124	494	-	-
		4Q.FY2017	336	118	480	-	-
	自動車ガラス	4Q.FY2018	518	167	267	-	-
		4Q.FY2017	508	191	307	-	-
		4Q.FY2018	864	291	761	4	1,919
		4Q.FY2017	844	309	787	4	1,944
電子	4Q.FY2018	618	40	10	8	677	
	4Q.FY2017	675	29	11	4	719	
化学品	4Q.FY2018	1,117	99	76	3	1,295	
	4Q.FY2017	1,091	82	76	4	1,252	
セラミックス・その他	4Q.FY2018	92	-	-	110	202	
	4Q.FY2017	93	-	-	136	229	
消去	4Q.FY2018	-	-	-	▲125	▲125	
	4Q.FY2017	-	-	-	▲148	▲148	
合計	4Q.FY2018	2,691	430	847	-	3,968	
	4Q.FY2017	2,703	420	873	-	3,996	

* 17年の地域別売上高を外部顧客向け売上高の内訳に調整していますので前年度の公表数値と異なります。

2019年 通期業績の見通し

売上高	16,000億円 (上期 7,750億円)	前年比 771億円 (5.1%) の増収
営業利益	1,250億円 (上期 500億円)	同 44億円 (3.7%) の増益
税引前利益	1,180億円	同 104億円 (8.1%) の減益
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	780億円	同 116億円 (12.9%) の減益

- **営業利益は5期連続増益を見込む**
- **親会社の所有者に帰属する当期純利益は減益となる見通し**
 - **その他費用が引き続き低いレベルで推移も、2018年の特殊要因が剥落**

2019年 通期業績見通しの主要項目

	FY2018	FY2019 予想	(億円)
売上高	15,229	16,000	前年比 771億円 (5.1%) の増収
(上期	7,455	7,750)	
営業利益	1,206	1,250	同 44億円 (3.7%) の増益
(上期	603	500)	
税引前利益	1,284	1,180	同 104億円 (8.1%) の減益
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	896	780	同 116億円 (12.9%) の減益
一株当たり配当金 (円)	115	120	
営業利益率	7.9%	7.8%	
ROE	7.7%	6.9% ^{*1}	
為替レート (期中平均)	JPY/USD	110.43	110
	JPY/EUR	130.42	125
原油	\$/BBL(Dubai)	69.4	60
エチレン	USD/MT (CFR SEA)	1,141	900

*1 FY2019予想のROEは、2018年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

2019年 セグメント別 売上/営業利益見通し

	FY2018	FY2019e	増減	増減%
				(億円)
売上高	15,229	16,000	+ 771	+ 5.1%
ガラス	7,575	7,800	+ 225	+ 3.0%
電子	2,526	2,900	+ 374	+ 14.8%
化学品	4,844	5,100	+ 256	+ 5.3%
セラミックス・その他	790	800	+ 10	
営業利益	1,206	1,250	+ 44	+ 3.7%
ガラス	225	250	+ 25	+ 11.0%
電子	240	230	▲ 10	▲ 4.3%
化学品	711	750	+ 39	+ 5.4%
セラミックス・その他	28	20	▲ 8	

【ガラスセグメント】

〔売上高〕 増収

建築用ガラス

- 各地域で数量が堅調に推移、加えてブラジル新窯稼働開始
- 日本、欧州で前期に行った値上げがフルに寄与

自動車用ガラス

- 堅調な既存事業に加え、車載ディスプレイ用カバーガラス事業が電子セグメントより移管

〔営業利益〕 増益

建築用ガラス

- 堅調な販売や前期値上げのフル寄与に加え、生産性の改善により製造原価低減

自動車用ガラス

- 前年下期に日本で悪化した生産効率は、本年下期から平常状態に戻る
- 車載ディスプレイ用カバーガラス事業の移管

【電子セグメント】

*車載ディスプレイ用カバーガラス事業はガラスセグメントに移管

〔売上高〕 増収

ディスプレイ

-液晶用ガラス基板

- G11対応設備が立ち上がり市場成長以上に出荷数量が増加
- 価格下落幅は前年よりさらに縮小する見込み

-ディスプレイ用特殊ガラス

- ドラゴントレイルの出荷数量が増加

電子部材

- 10°トイレットロックス用部材、半導体関連製品ともに出荷増

〔営業利益〕 減益

- 液晶用ガラス基板は販売数量増も、G11対応設備の償却費が増加し価格はマイルドに下落
- ディスプレイ用特殊ガラスはドラゴントレイルが出荷増、前期発生在庫処分損がなくなる
- 電子部材は半導体関連製品を中心に業績拡大

【化学品セグメント】

〔売上高〕 増収

クローラルカリ・ウレタン

- クロアリ製品の価格改善

フッ素・スペシャリティ

- フッ素関連製品の出荷が堅調に推移

ライフサイエンス

- 合成医農薬・バイオサイエンスともに、前期までの積極投資により生産能力が拡大

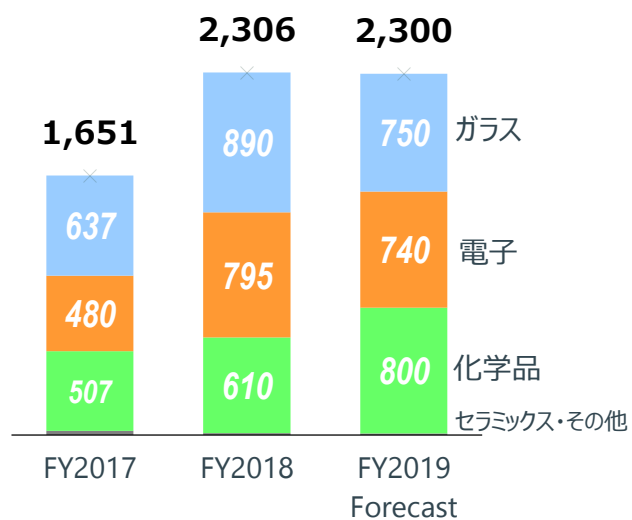
〔営業利益〕 増益

- クロアリ製品の価格スプレッド改善

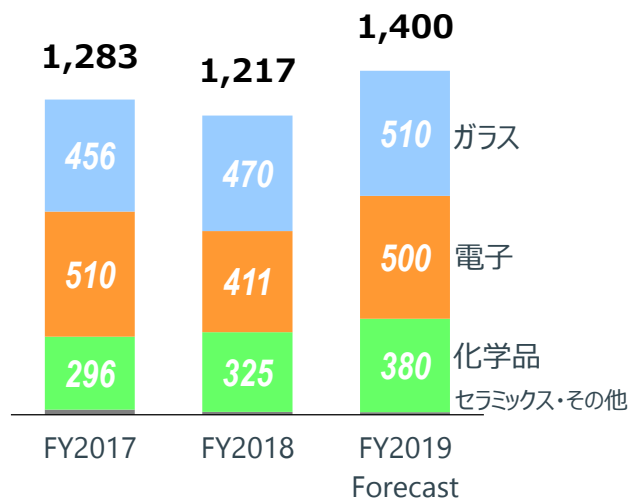
- ライフサイエンスは順調に規模を拡大

(億円)

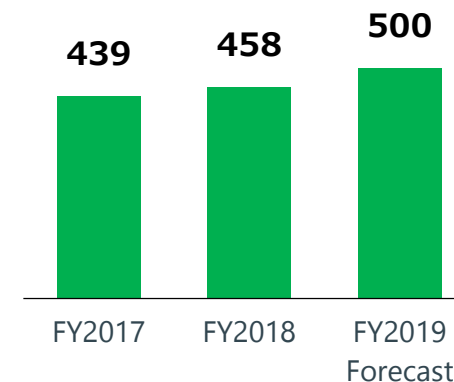
設備投資 (M&A除く)



減価償却費



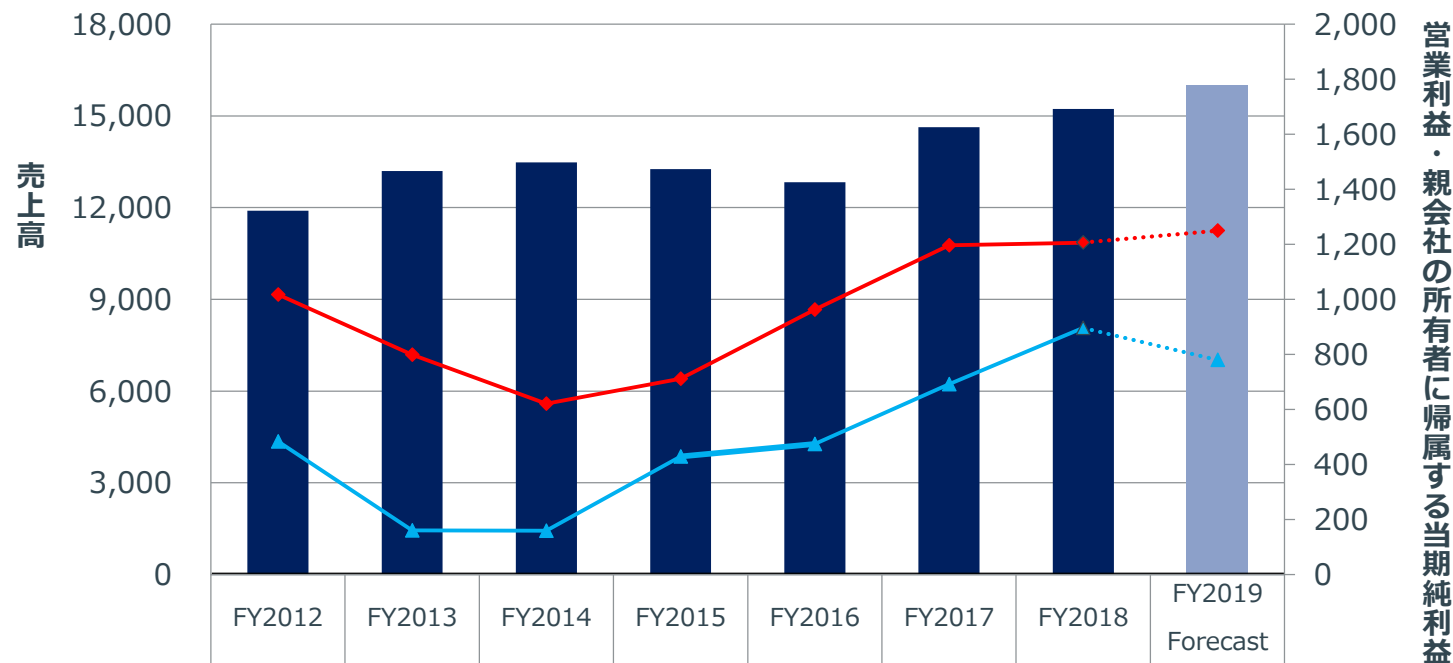
研究開発費



付属資料

通期業績の推移

(億円)



■ 売上高	11,900	13,200	13,483	13,263	12,826	14,635	15,229	16,000
◆ 営業利益	1,018	799	621	712	963	1,196	1,206	1,250
▲ 親会社の所有者に帰属する当期純利益	484	161	159	429	474	692	896	780
営業利益率	8.6%	6.1%	4.6%	5.4%	7.5%	8.2%	7.9%	7.8%
一株当たり配当金	¥130	¥90	¥90	¥90	¥90	¥105	¥115	¥120

*当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。
一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

		IFRS						
		12/12	13/12	14/12	15/12	16/12	17/12	18/12
自己資本当期純利益率 (ROE) ^{*1}	%	5.8%	1.6%	1.4%	3.9%	4.3%	6.1%	7.7%
総資産営業利益率 (ROA) ^{*2}	%	5.6%	4.0%	3.0%	3.5%	4.8%	5.7%	5.4%
自己資本比率	%	47%	51%	54%	55%	55%	53%	51%
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.56	0.50	0.42	0.40	0.37	0.38	0.43
営業CF/有利子負債	倍	0.32	0.29	0.27	0.40	0.47	0.42	0.35
一株当たり当期純利益 (EPS) ^{*3}	円	209.51	69.85	68.85	185.60	205.14	302.12	399.51
EBITDA ^{*4}	億円	2,000	1,866	1,859	2,284	1,958	2,499	2,594

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

為替レート		FY2017					FY2018				
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
円/ドル	期中平均	113.64	111.09	111.03	112.98	112.19	108.30	109.07	111.46	112.90	110.43
	期末	112.19	112.00	112.73	113.00	113.00	106.24	110.54	113.57	111.00	111.00
円/ユーロ	期中平均	121.08	122.19	130.38	133.01	126.67	133.22	130.06	129.63	128.78	130.42
	期末	119.79	127.97	132.85	134.94	134.94	130.52	127.91	132.14	127.00	127.00

発表日	内容
1月9日	バイオサイエンス事業の一体運営を開始
7月12日	GMP対応合成医薬品中間体・原薬の製造能力を10倍に増強
7月25日	5 Gコネクテッドカーに向けた「車両ガラス設置型アンテナ」による5 G通信に成功
7月26日	米国Park Electrochemical社のエレクトロニクス事業を買収
8月30日	5G高速高周波プリント基板用材料フッ素樹脂Fluon+ EA-2000の生産能力を大幅増強
9月5日	インドネシアでPVCの生産能力を増強
9月18日	タイでクロール・アルカリ事業の能力増強を検討開始
9月20日	動物細胞を用いたcGMP対応バイオ医薬品開発・製造受託設備を千葉工場に新設
10月15日	AGCとパナソニック、欧州市場向けに業界最高クラスの真空断熱ガラスを共同開発
11月7日	ドコモとAGCが提携し、世界初『窓の基地局化』に成功
11月28日	AGC、EUV露光用フォトマスクブランク供給体制をさらに増強
11月29日	5G向け合成石英ガラスアンテナを開発
12月4日	スペイン合成医薬品原薬製造会社を買収
12月18日	米国バイオ医薬品生産能力を3倍に増強
12月19日	世界初！ドライバー視界部をクリアに保つ曇りにくいガラス（eXevue®）がダイハツ工業株式会社の“コペン クーペ”に採用

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

AGC

Your Dreams, Our Challenge

END